

島根県益田赤十字病院の西園です

当院の薬剤師も被災地で活動しています。個人として何ができるか、必死に考えています。他の赤十字病院が石巻に行った後に発言した内容です。

高知赤十字病院から

本日（16日）、11日に出発した第一班が帰ってきて記者会見がありました。当院の救護班は、福島避難所数箇所と石巻赤十字病院の緑エリアで活動を行ったようです。

・医師・看護師・主事の第一声が「薬剤師さん絶対必要！」でした。

（8人編成の中で、主事として薬剤師が出動するのは、連絡係り等主事の仕事が手薄になるにも事実です。）

高知のTVインタビューより

- ・処方せんを渡してから薬を受け取るまでに6時間待ちの状態。
- ・病院のフロアは、病気の人・薬待ちの人・避難して来た人で混雑。
- ・病院と避難所の連絡バスが出ているが、待ち時間は多いしもとの避難所に帰れる保障は無い。
- ・昼間は小児の診察が多く、咳・嘔吐下痢・キズ・消毒などが多かった。
- ・透析、妊婦、授乳婦も結構いる。
- ・頭痛を訴えた人の原因のほとんどが、ストレス・パニック・不眠だった。
（ロキソニンが不足気味になり、第二班でボルタレンと各1000錠追加）
- ・慢性疾患の薬の要請。皮膚疾患も増えてくるのでは・・・
- ・インスリン、DM薬、降圧薬の不足。

石巻病院からの報告で、破傷風トキソイドの不足とありましたが、緑エリアとか避難所の巡回診療では、避難した方がまだ片付けるところまでいってないので、使用するような事態になってないとの事。

最後に、医師と師長より「石巻赤十字病院の薬局は大変よ！部門別の救護も出すんでしょ。薬剤師会とかで協力して助けてあげてくださいね。」と言うコメントがありました。日赤を強く感じました。

原町赤十字病院から

13日～16日まで石巻日赤に行ってきました、薬剤師が不足しています。

病院の薬剤部も一日1200枚くらい処方箋がでています、

薬がなくて一人3日分しか投薬できません、降圧剤、糖尿病薬、抗血栓薬、抗アレルギー薬、風邪薬、整腸剤、胃薬などもっていけるだけ持ってください、経管栄養、透析用生食。食料もなく、調理より米が不足しています無洗米（水がなくて洗えない）、コップ（長く使えるもの）、速乾性アルコール、その他なんでもいいと思います、病院に持って行ってください

原町から持っていった薬は帰りにすべて薬剤部に預けてきました

簡単に救護の様子

1日目、大街道小学校での巡回診療、180人位の診察、投薬は全て2日分にしました、多く出せません、津波で薬がない人が多く困っていました。

2日目、院内の薬局を手伝いました、日赤薬剤師会のほか、県の薬剤師会も手伝っています、薬剤師のニーズは沢山あります、これからです。

という内容でした。皆さん宜しくお願いします。

★=====★

西園 憲郎

益田赤十字病院 薬剤部

★=====★